

今号からしばらくの間「情報検索」をテーマに取り上げます。検索の最終目的は、自分が必要とする論文そのものや図書そのものに辿り着くことですので、情報を取り出すためのツールを使い分けること、適切な検索語を選択することが重要なポイントになってきます。思いついた検索語を入力したはいいが、予想外の結果に戸惑ったことはありませんか？検索シリーズ開始に先立ち、より効率良く検索できるようなコツをご紹介します。

検索にあたり、既知の論文や参考図書などである程度の下調べをし、探したい情報に適したキーワードを集めておくことをお勧めします。ありふれた語だけで検索をすると、時間もかかり件数も膨大になってしまいますので、出来るだけ専門的な用語から入力していくのがコツです。何もヒットしなかった場合は、綴りのミス、入力する欄の間違い、検索条件がクリアされていない等の理由が考えられます。また、漢字形でヒットしなくても「よみ」で入れるとヒットすることがあります。漢字形には旧字や異体字もあり表記どおり入力する必要がありますが、たいていはその「よみ」も登録されているからです。

件数が少なすぎたり多すぎたりした場合は、検索語の追加・削除・変更が効果的ですが、検索機能（論理演算、トランケーション、ストップワードなど）を上手に活用すると、より確実に検索式の立て直しを図ることができます。論理演算は検索語の関係を指定するもので、AND 検索（“すべて”を含む）、OR 検索（“どれか一つ”を含む）、NOT 検索（ある集合を含まない）の3種類があります。検索語が増えればヒット件数が減る“AND 検索”は、結果を適度に絞り込みたいときに、検索語が増えればヒット件数も増える“OR 検索”は、同義語・類義語・関連語などを1つのグループにまとめたいときに使います。トランケーションは、綴りの違いや語尾変化などをまとめて検索する機能で、不定の文字列を*などの記号に置き換えて検索します。また、検索語から除外される語のことをストップワードと呼び、欧米語の冠詞や前置詞などがこれにあたります。

検索には大きく分けて所蔵検索（図書や雑誌の所蔵と所在を知る）と文献検索（特定主題に関する文献のリストを集める）の2つがあります。今回は、所蔵検索のためのツール、中でも Online Public Access Catalogue (=OPAC オーパック) の使い方を説明します。

OPAC は Web で利用可能な蔵書目録で、所蔵の有無や配架場所などを調べることができます。本学の OPAC は、現在、学内限定となっており、利用するためには本学学術ネットワークの認証 ID、パスワードが必要です。図書館にも専用端末が4台あります。

入力は大文字/小文字、ひらがな/カタカナ、半角/全角を区別する必要はありません。特に指定しない限り図書・雑誌両方が検索対象となりますが、何をどの欄に入力すればよいか判断するために、文献リストにおける図書と雑誌の見分け方を覚えておくのが便利です。図書は「編集者」「版」「出版社」などが、雑誌は「巻(号)」が記載されているのが特徴です。よくある間違いとして、OPAC では論文単位の検索はできないのに、個々の論文の著者、論題、出版年を入れてしまうことが挙げられます。洋雑誌は略名で表示されることが多いのですが、そのまま入力してもヒットしませんので、単語の後に必ず*を付けてください。(例：○Intern* Med* ×Intern Med) 和雑誌は完全誌名で入力するか、単語で区切って入力します。(例：○日本内科学会雑誌 ×日内会誌) 医学中央雑誌の検索結果には誌名の後に8桁の番号 (ISSN:国際標準逐次刊行物番号) が表示されており、これだけで雑誌を特定できる大変有効なコードです。OPAC における検索語の入力の仕方は「利用のしおり」や画面の「利用方法」「例」を参考にしてください。

検索の結果、該当の書誌が見つかったら、目的の巻号を所蔵しているかどうか、貸出中でないかを確認した上で書庫に探しに行ってください。あるはずなのに書架に見当たらない

いときは、遠慮なくカウンターに声をかけてください。

図書館トリビア

赤、紫、橙、青、草、空、茶、黄緑、これらは全て図書館で使われている図書ラベルの「色」で、図書を受入する際に区別しています。通常3段のラベルで、順番に医学部中央図書<赤>、歯学部中央図書<紫>、学生図書<橙>、参考図書、教養部学生・中央<青>、VIDEO や CD、DVD などの AV 資料<草>、一般書<空>などのラベルを貼っています。書架で本を手にする時、ちょっぴり意識してご覧になってみてください。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。